

都市計画道路「新町井ノ浦線」の早期建設について

1 都市計画道路「新町井ノ浦線」の概要

都市計画道路「新町井ノ浦線」
都市計画決定：昭和 42 年 3 月 22 日
延長：8,760m
幅員：8m～22m
代表幅員：22m(4 車線)
起点：門司区西新町二丁目
終点：門司区大字恒見
構造：地表式(一部トンネル区間あり)



都市計画道路「大里恒見線」
都市計画決定：昭和 42 年 3 月 22 日
延長：5,710m
幅員：7m～20m(車道部)
代表幅員：15m(4 車線)
起点：門司区大里本町三丁目
終点：門司区大字畑
構造：地表式(一部トンネル区間あり)

2 都市計画道路「新町井ノ浦線」に関する主な経緯

- ・昭和 42 年 3 月 22 日 都市計画決定
(門司区北西部と周防灘沿岸部への物流機能強化を目的に計画)
- ・平成 29 年 1 月 24 日 「北九州都市計画」を「北九州広域都市計画」と名称変更
- ・令和 元年 計画から 20 年以上経過した未着手路線を対象として事業の存続性を検討した結果、「存続区間」と判断

3 都市計画道路「大里恒見線」の交通安全対策と事故件数

令和 6 年度までに、事故防止のための反射板設置や誘導表示、区画線の復旧など、15 件の交通安全対策を実施した。
その結果、平成 27 年度の事故件数は 53 件であったが、令和 6 年度は 28 件に減少した。

4 北九州市の道路整備の考え方（北九州市道路整備中長期計画）

今後の道路整備の方向性や主要施策及び目標等を示す中長期的な計画として、令和7年度から概ね10年間を計画期間とした「北九州市道路整備中長期計画（令和7年1月策定）」に基づき、道路整備を進めている。

<コンセプト>

未来への成長に向けて挑戦する魅力あふれるみちづくり

<ビジョン>

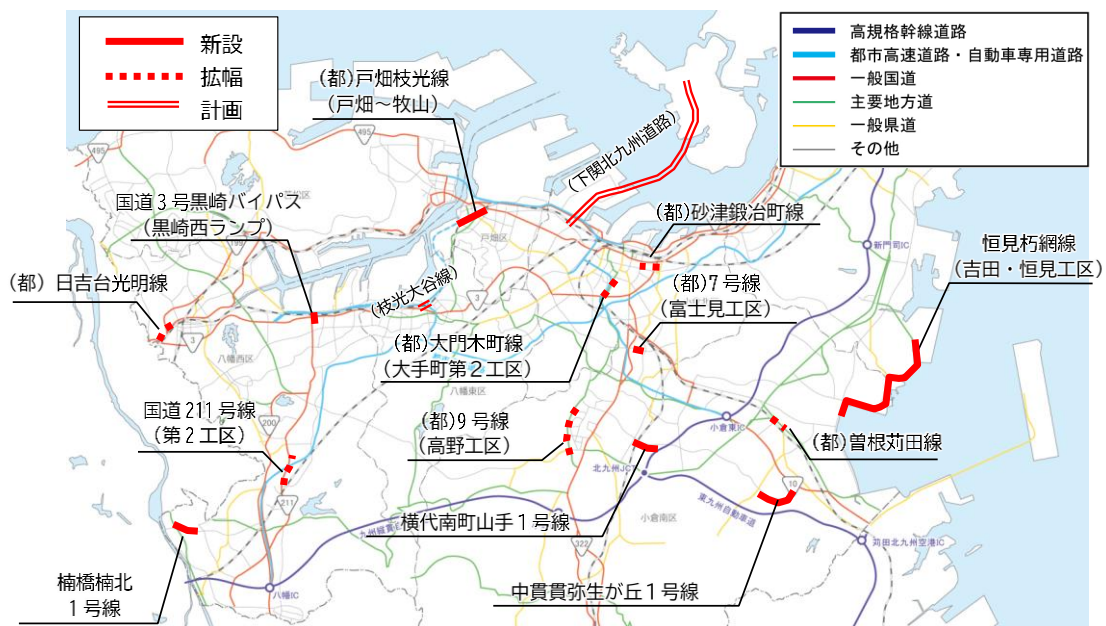
- 1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり → 施策：稼げるまちを支える広域道路ネットワークの構築
- 2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり
- 3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり → 施策：事故危険箇所の事故防止対策

なお、本計画の策定から概ね5年後を目途に効果検証し、計画の見直しを実施する。

また、今後の社会・経済情勢の変化に伴い新たに必要となる道路については、その計画が明確になった時点で、本計画に反映することとしている。

5 現在取り組んでいる主な道路・街路事業

自動車専用道路ネットワークとともに、北九州港、北九州空港等の交通・物流拠点間を結び、広域連携や産業活動の安定的な確保・活性化を図るための道路整備を進めている。



6 今後の方針

- ・現在、事業中の路線については、道路ネットワークとしての機能を早期に発揮できるよう、着実に整備を進める。
- ・新町井ノ浦線をはじめ未着手の路線については、今後の都市の発展を勘案し、整備効果を十分に検証した上で、事業化の必要性について検討する。